



「さつまいも作り」始めました!

寒川町青少年指導員連絡協議会 会長 大久保 泰明

寒川町では、小学生体験学習として「キャンプ」と「さつまいも作り」を行っています。

「キャンプ」は、高学年を対象に長年続いている行事です。「さつまいも作り」は、低学年から参加できる行事として、平成23年度に始めました。4回目となる今年度も、5月下旬に「苗うえ」7月に「草とり」を実施しました。順調に生育しているのので11月の「いもほり」が楽しみです。

畑での子どもたちは、黙々と草とりをする子。とかげや虫に夢中になる子。いもが折れないように根気良く掘る子。顔ほどの大きないもを抱えて自慢げな子。いつも微笑ましい姿と元気な声でにぎわっています。収穫したさつまいもの一部は、青少年指導員がふかしいもや焼きいもにしてみんなで食べます。いろいろと試行錯誤して、昨年はドラム缶で石焼きいもを作り、「ホクホク」「甘い」「おいしい」と好評でした。今年も計画を練っているところです。

「さつまいも作り」には、地域から「さつまいもサポーター」を募集して、畑仕事のお手伝いをお願いします。子どもたちや保護者、さらに青少年指導員にも

いろいろな知識やアドバイスをいただいています。

新しい仲間と親子で土に触れ、自分たちで植えた苗からさつまいもを収穫して食べるという、楽しさや大変さを経験しています。ここでの出会いや体験が、子どもたちの健全育成の助けになることを願っています。



みんなで仲良く「いもほり」



明日のレギュラーは君たちだ

多摩区青少年指導員連絡協議会 会長 関 敦司

多摩区の青少年指導員会の稲田地区（4班）では「多摩川ウォーキング20,000歩 歩いてみませんか」などを



中学1年生 バasketボール大会

主催したり、生田地区（3班）では小中学校の生徒やPTAの方たちによる「ふれあいミュージックフェスタ」を多摩市民館大ホールで開催し、かつ両地区とも地域諸団体と協力して青少年健全育成のための諸行事に旺盛に取り組んでいます。

また稲田地区・生田地区共同し多摩区青少年指導員会が主催して取り組んでいるのが多摩区・麻生区の中学1年生によるスプリングカップバスケットボール大会です。以前は中学生によるミニバスケットボール「スリーオンスリー大会」を長く開催していましたが「多摩スポーツセンター」が開設されたのを機にバスケットボール大会に切り替えました。

この大会はレギュラーとして試合に出る機会の少ない多摩区・麻生区の中学1年生を対象としています。真新しい体育館で1年生同士の試合は次のレギュラーとして基本を大切に全力でぶつかり、この経験は今後の貴重な財産となったことでしょう。今年は3月15日に第3回が開かれ、各地で予選を勝ち抜いた男女各9チームによるリーグ戦が行われ、フリースロー大会や抽選会も行い大いに盛り上がりました。